

ふるさとわがまち

峰山町 小西区

○小西区の概要

京丹後市の中央部・峰山の街から西へ小西川沿いにさかのぼること3キロ。来迎山の麓に位置する小集落です。

耕地面積はおよそ25ha、国営農地開発事業で切り拓かれた畑地が約5ha。水稻を中心としながら季節の野菜をはじめ、梨、桃、ブルーベリーなどの果樹栽培、近年では葉草栽培も行われ、量は多くありませんが、多彩で新鮮な農産物を生み出しているのが特色です。

水稻はコシヒカリが中心で、来迎山から湧き出たミネラルたっぷりの水と多湿、冷気な風土が幸いしてか、高い食味値(90点超)で知られ、「丹後禅定寺米」のブランド名で販売している農家もあります。

○歴史

南北朝時代、後醍醐天皇がつくらせた「元亨年中行事」の中、元亨9年(1329)の項に、千部経の供養を行なう寺院として「善城寺(禅定寺の前身)・小西」の名が登場していますから、古くから営まれてきた集落であることがうかがえます。

戦国時代には、一色氏の出城、奥吉原城が置かれ、明智光秀とも親交のあった連歌師・里村紹巴(さとむらじょうは)が、一色氏の招きでこの地を訪ねています。善城寺の堂内で催された連歌の会では、寺

前の清流を「いさぎよき 寺や心の みそぎ川」と詠いました。目の前の山には、西の守りを固める奥吉原城が築かれていましたし、一山十二坊といわれた善城寺の藁が軒を連ねていましたから、当時の小西区は一色氏の奥座敷、知的な文化ゾーンとして位置づけられていたのでしょう。

その後、天正10年(1582)には織田・細川軍により奥吉原城が落城、そして文禄2年(1593)には、丹後真言倒しのために寺が焼かれます。

その後、寺は再興され臨済宗のお寺・禅定寺となりますが、丹後ちりめんの創始者として知られる絹屋佐平治(きぬやさへいじ)が、江戸享保年間(1716~1735)、禅定寺の観音様に7日間の断食祈願を行い、初めてちりめん織に成功したことで知られています。

○伝統行事

眞明神社、二柱神社をお祀りし、秋の祭礼には子ども御輿を繰り出すほか、春秋の各祭礼には「講」行事を開催して隣組単位での親睦を深めます。また、丹後地域が伊勢外宮のふるさとでもあることから、毎年代参者2名を伊勢に派遣し、酒迎え行事を行うことも今日では希なことです。

○名所、旧跡

眞言のお寺や中世の山城が置かれていたことから、史跡も数多く残り、伝説なども残されています。

中世の奥吉原城は来迎山の中腹に築かれた一色氏の山城で、近年の調査で、その規模や遺構などが

明らかになってきました。敵の侵入を防ぐV字形の溝や土橋などが中世の姿のまま残されているほか、城址からの眺望の良さは秀逸です。若宮塚、姫塚、庚申塚、道祖神など昔語りを今に伝える史跡も訪ねる人を和ませます。

一山十二坊と言われた寺の面影は、福寿(院)、院の坊、寺谷など地名に残されているほか、地藏様にまつわる言い伝えなどが数多く残されています。夢にうなされ、土中に埋められていたお地藏様を掘り起こしたら、たちまち病気が快癒したというお話、焚き火の中から燃え残った木魚のお話、裏返しに埋められていた地藏様を掘りおこし、お祀りをすると運が開けたというお話。勧善懲悪的なお話は、子ども達に向けた教育説話だったのかも知れません。

○まちづくり活動

区と公民館が活動の主体となっていますが、世帯数の少ないこともあって、年代別の自主グループが実働部隊として活躍しています。

昭和の時代は、もっぱらインフラ整備に力が注がれ、市道の拡幅、ほ場整備と農道の整備改良、国営山畑開拓、上水道の整備などが行われてきました。平成に入り、念願だった区公民館の新築も成り、基礎的な整備が一段落した段階では、区内外の人びとの親睦と交流を進めようとしています。

△区民運動会

毎年5月末に開催している親睦行事。区民全員が参加してレクリエーション種目で交流をはかります。青空天井のもとで開催する大昼食会が人気です。

△納涼祭

禅定寺境内で開催されるお盆の恒例行事。帰省客との親睦・交流を進めるねらいもあって、この時期に開催しています。区出身の人たちにとっては、ふるさとの味やナマリが楽しめるかと好評です。

△奥吉原城址交流

460年前に落城した奥吉原城。時の城主・小西石見守の子孫が、兵庫県伊丹市で(株)小西酒造を興されていて、平成21年から会社ぐるみ、区ぐるみの交流が始まりました。

お互いが持てる力の範囲内で、未永く交流しよう

とのスタンスで、まずは相互の訪問交流からスタートしています。

○地域のおすすめ場所

小西山禅定寺
織り初めちりめん
眞明神社
奥吉原城址
姫塚と道祖神

○おすすめ民俗文化財

芋車 生活用水の勾配や落差を利用した水車。
里芋や栗の鬼皮をめくる。自然流下を利用した工
コな道具。

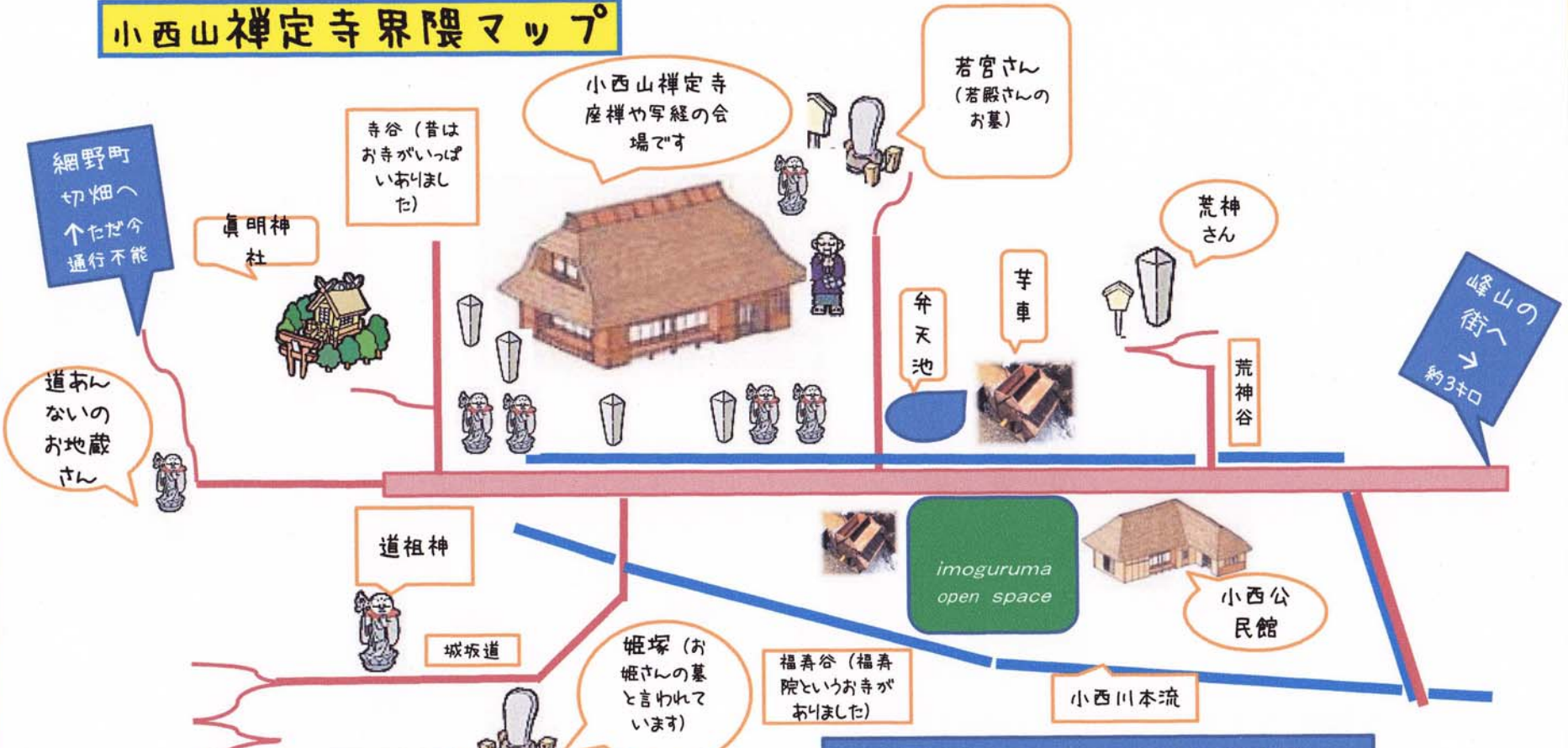
○地域のお祭り

眞明神社の子ども御輿
(自分たちで楽しむためのお祭りしかありません)

小西区の諸データ

世帯数
組数 3
面積
回覧 3
集会所 1
連絡先 0772-62-1030
いつも誰かが居るわけではありません。
区の家へ -♪-
<http://swest.dokkoisho.com/>

小西山禅定寺界隈マップ



細野町
切畑へ
↑ただ今
通行不能

道おん
ないの
お地蔵
さん

寺谷 (昔は
お寺がいっぱ
いありまし
た)

小西山禅定寺
座禅や写経の会
場です

若宮さん
(若殿さんのお墓)

荒神
さん

嶺山の
街へ
→
約3キロ

道祖神

城坂道

姫塚 (お
姫さんの墓
と言われ
ています)

福寿谷 (福寿
院というお寺が
ありました)

小西川本流

ようこそ小西へ フイズをどうぞ

奥吉原城址
(山中にありま
すが、禅定寺から
徒歩で30分。
車で行けるところ
まで行くと、ここ
から徒歩10分の
山登りです)
眺望抜群!

- 1 小西山禅定寺が歴史書にあらわれるのは1329年です。その当時は真言宗の〇〇寺と呼ばれていました。
- 2 戦国時代には、里村紹巴 (さとむらじょうは) という人がやってきて、「いざぎよき 寺や心の みぎぎ川」という句を残しましたが、この人の職業は〇〇師と呼ばれていました。
- 3 戦国時代、この地を治めていたのは一色氏でした。小西には奥吉原城という山城が築かれていましたがその城で、織田信長の軍と戦ったのは、〇〇〇〇守でした。
- 4 江戸時代の人・絹屋佐平治は、小西のお寺で断食祈願をして、丹後で始めて〇〇〇〇織に成功しました。
- 5 お城に行く道が城坂 (しろさか) です。ここにある道祖神は、道おんないのお地蔵さまですが、お地蔵さまには右〇〇〇と彫られています。今で言う久美浜方面への道があったのでしょうか。
- 6 小西の村なかには生活用水がひかれています。水流を利用した水車が回っていますが、この中に〇〇を入れ皮をめくります。このため、この水車は〇〇車と呼ばれています。



お 講



ブルーベリー



運動会



奥吉原城址



田植えの頃



仁王像



子ども御輿



寺モル2



梨



納涼祭



武将8



織初め縮緬1



イモ車



芋車



里村じょうは